

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	7-2-1		
2 地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち		
3 政策	観光によるにぎわいの創出		
4 施策	観光資源の発掘と活用【重点】		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化観光課	庶務課	文化デザイン課
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	区民や来街者が、国際アート・カルチャー都市豊島区を楽しめるような回遊ルート設定等、新たな観光資源を発掘します。						
	ソメイヨシノ発祥の地、トキワ荘、池袋モンパルナス、ふくろう等、豊島区のオンリーワンブランドの魅力を活用します。						
	特色あるグルメ、ショッピング等、豊島区滞在時の魅力を創出します。						
9 施策の現状と課題	ソメイヨシノ発祥の地、トキワ荘、池袋モンパルナス、ふくろう等豊島区には多くの観光資源があり、様々なイベントも開催されているが、全国的に認知されている数はまだ少ないのが現状である。豊島区が誇るオンリーワンブランドの魅力をさらに磨き上げていくためには、オリンピック・パラリンピックの開催等アフターコロナを見据え、Hareza池袋、4つの公園、トキワ荘マンガミュージアムといった魅力的なスポットをイケアバスで結ぶような回遊性を高める取組みを実施し、国際アート・カルチャー都市の集大成として、ハード整備とソフト整備を組み合わせた施策を展開していく必要がある。						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	外国人旅行者数は右肩上がり伸びてきたが、コロナ禍によりインバウンド需要が激減している。2020年には、Hareza池袋がグランドオープンし、Ike Sunparkもオープンする。東アジア文化都市事業として進めてきたハード整備・ソフト整備が完成し、豊島区がこれまで積み上げてきた文化政策の集大成を迎える。この機会を逃すことなく、アフターコロナを見据えて、外国人を含めた観光客をおもてなしする環境整備に努めていく必要がある。						
11 今年度の施策の取組方針	歴史・文化資源の価値や魅力を広く区内外に発信するとともに、地域文化を生かした区民文化活動をまちづくりにつなげていく。また、コロナ禍において新しい生活様式が求められる中、SNS等により魅力的なコンテンツの発信に努めていく。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	50,137	83,311	338,016	49,930		
	うち一般財源分(千円)	46,207	69,000	142,471	37,537		
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「イベント等認知度」に対し、ふくろ祭り/東京よさこいを認知している回答の割合【%】	目標値					60
		実績値					
		達成率	—	—	—	—	—
	達成状況						
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	豊島区の代表的なイベントであるふくろ祭り/東京よさこいの認知状況は、区内イベントの認知度を測る指標となるため。			
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	トキワ荘通りお休み処の来場者数【人】	目標値	18,000	19,750	21,500	23,250	25,000
		実績値	17,312	11,174	11,312	13,192	
		達成率	96.2%	56.6%	52.6%	56.7%	—
達成状況		B:相当程度達成	C:未達成	C:未達成	C:未達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	トキワ荘のマンガ文化の発信拠点であるトキワ荘通りお休み処の来場者数は、オンリーワンブランドの磨き上げ、区内外へのPR効果を指標となるため。				
14 施策達成状況	令和元年度達成状況	56.7%	【達成状況分析】				
	C:未達成	「イベント等認知度」に対し、ふくろ祭り/東京よさこいを認知している回答の割合は、平成23年度に実施した「来街者動向調査」に基づくものであるが、以後、調査を実施しておらず、効果測定ができない状況である。 トキワ荘通りお休み処の来場者数については、トキワ荘ブランドをさらに発信し、トキワ荘マンガミュージアムが開館する本区にとって重要な指標であり、トキワ荘マンガミュージアム開館以降は、トキワ荘マンガミュージアム、トキワ荘ゆかりのモニュメント等南長崎地域のマンガ関連施設を回遊する来街者が増加するよう観光振興策を含めた検討を進めていく。					
		【指標重要度の割合の設定理由】 国際アート・カルチャー都市実現戦略の中でも、マンガ・アニメをはじめとしたサブカルチャーにもスポットを当てており、トキワ荘マンガミュージアム周辺地域の観光振興策を具体的に検討し、南長崎地域の来街者増加を図っていくことは重要な課題となっている。 また、豊島区を代表するイベント「ふくろ祭り/東京よさこい」の認知度については、豊島区の賑わいを象徴する池袋の賑わいを反映する数値であり、同様に重要な指標となるため。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	ソメイヨシノ、トキワ荘マンガミュージアム、池袋モンパルナス、雑司が谷未来遺産、ふくろう等豊島区には多くの観光資源がある。Hareza池袋グランドオープン、としまみどりの防災公園(イケア・サンパーク)オープンにより東アジア文化都市記念事業も完成を迎える。令和元年度12月に公表された「未来の東京」戦略ビジョンに記載のあるとおり、世界中から人を惹きつける国際アート・カルチャー都市は今後、成熟期を迎えていく。としまブランドにさらに磨きをかけ、コロナ禍終息後、国内外から多くの来街者を呼び込む好機を逸せず、インバウンド対応も踏まえ、豊島区の魅力をさらに効果的に発信していく必要がある。						

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	【貢献度の設定根拠】豊島区には多種多様な観光資源があり、この「としまブランド」にさらに磨きをかけ、効果的な情報発信、有機的な連携により、さらなる観光振興を図ることが可能となる。「としまブランド」の中でも、トキワ荘マンガミュージアムを拠点に、現代マンガ・アニメの原点となるトキワ荘のマンガ文化を後世に伝えていくマンガ・アニメによるまちづくりは、今後の豊島区の観光振興の要となるコンテンツである。このように、豊島区の観光施策の今後を左右する重要コンテンツであるトキワ荘マンガミュージアムの運営事業を施策貢献度が「大きい」事業、何らかの拠点が観光PRに貢献している事業を施策貢献度が「ふつう」、観光振興プラン進捗管理事務を施策貢献度が「低い」としたところである。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、成果向上策について)	国際アート・カルチャー都市の基盤となるハード整備も完成に近づいている。魅力あふれる「としまブランド」にさらに磨きをかけ、効果的な情報発信、有機的な連携を図っていく必要がある。新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底した上で、ハード・ソフトの両面で、イケバス等を活用した回遊性向上策を検討していく必要がある。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	コロナ禍において、「としまブランド」を支える多くのイベントが休止となっているが、文化の灯をともし続けるため、SNS等を活用した情報発信など3密対策及びソーシャルディスタンスの確保といった策を講じた上での施策展開を行っていく必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0503-02	ソメイヨシノプロジェクト推進事業		事業費合計(千円)	6,419	7,949	12,892	6,489	
			うち一般財源分(千円)	5,199	5,579	9,949	5,266	
			現状評価	A:良好	A:良好	A:良好		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持			
0503-03	マンガ・アニメ等を活用した観光事業		事業費合計(千円)	5,285	15,112	46,823	41,050	
			うち一般財源分(千円)	5,285	15,112	42,132	37,693	
			現状評価	A:良好	A:良好	A:良好		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	S:拡充			
0503-04	南長崎マンガランド事業		事業費合計(千円)	20,519	39,302	7,561	16,393	
			うち一般財源分(千円)	18,174	27,726	4,120	8,580	
			現状評価	A:良好	A:良好	A:良好		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★	
事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持		
0503-05	(仮称)マンガの聖地としまミュージアム関係事業		事業費合計(千円)			248,404	740,131	
			うち一般財源分(千円)			117,604	316,168	
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度				★★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性						
0502-05	池袋モンパルナス回遊美術館事業		事業費合計(千円)	6,850	7,850	8,700	8,700	
			うち一般財源分(千円)	6,850	7,850	8,700	8,700	
			現状評価	A:良好	A:良好	A:良好		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	— (再掲分)	— (再掲分)	— (再掲分)	— (再掲分)	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	B:改善・見直し	A:現状維持	A:現状維持		
1301-07	豊島ふくろう・みみずく資料館の運営		事業費合計(千円)	4,513	4,596	8,753	3,212	
			うち一般財源分(千円)	4,148	4,231	8,407	2,874	
			現状評価	B:普通	B:普通	B:普通		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★	★	★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	B:改善・見直し	A:現状維持			
0503-06	雑司が谷未来遺産推進事業		事業費合計(千円)	5,500	5,500	4,316	5,500	
			うち一般財源分(千円)	5,500	5,500	4,316	5,500	
			現状評価	A:良好	A:良好	A:良好		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続		
0503-07	豊島区観光振興プラン推進事業		事業費合計(千円)	1,051	3,002	6,851	1,000	
			うち一般財源分(千円)	1,051	3,002	6,851	1,000	
			現状評価	A:良好	A:良好	A:良好		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持			

*平成30年度当初予算より南長崎マンガランド事業から分離

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	7-2-2		
2 地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち		
3 政策	観光によるにぎわいの創出		
4 施策	魅力的な観光情報の発信		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化観光課		
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	ソメイヨシノ・トキワ荘などオンリーワンブランド資源の情報を始め、年間を通じた様々なイベントの魅力をも国内外へ広めるため、受け手目線に立ったPR手段を講じます。						
	情報の多言語化の推進はもとより、情報関連事業者と連携し、最新の情報発信手段の開拓・活用を進め、PRをしていきます。						
9 施策の現状と課題	<p>○豊島区には、ソメイヨシノやトキワ荘、池袋モンパルナス、雑司が谷などの歴史的・文化的資源が多数ある。加えて、様々なイベントが通年で催されているが、これらの認知度はまだまだ低く、魅力を十分に伝えきれていない。</p> <p>○情報通信技術が発達し、観光情報が容易に収集可能な状況の中、区内観光スポットの認知度を高め来街者を増やすには、新たなメディアや情報伝達ツールの開拓と効果的な活用が求められている。</p> <p>○平成31年4月の宿泊旅行統計調査によると、東京都の客室稼働率は85.3%、ビジネスホテルの場合は89.4%、シティホテルの場合は89.6%と高水準であり、多くの人々が東京を訪れていることが読み取れる。このような状況下、政府は、東京オリンピック・パラリンピック開催年である2020年の訪日外国人旅行者数の目標値を4,000万人としていたが、年頭からのコロナ禍の影響により4月の訪日外国人観光客数は前年同月比で99.9%減と、観光需要の冷え込みは甚大である。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<p>○7月にはトキワ荘マンガミュージアム、ハレザ池袋がグランドオープンした。一方で、造幣局跡地再開発、池袋西口再開発と文化と魅力を備えた街づくりは引き続き行われる。</p> <p>○池袋西口公園の改修工事も終わり、Tokyo Music Evening Yūbeをはじめとした従来にないイベントの実施も予定されており来街者数が増加すると見込まれていた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い4月7日から緊急事態宣言が発令された。5月25日に解除されたが、感染拡大に伴うリスク回避のため区内で実施するイベントについては延期・中止が相次いだ。</p>						
11 今年度の施策の取組方針	新型コロナウイルス感染症の感染者数の推移や国・都の対応などを注視しつつ、国が示した「新しい生活様式」に則った地域資源の活用について検討を勧める。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	60,885	49,058	52,731	52,731	0	
	うち一般財源分(千円)	59,558	47,865	52,521	52,521	0	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	区ホームページ月平均アクセス件数(観光)【件】	目標値	20,000	22,500	25,000	27,500	30,000
		実績値	18,460	10,391	13,446	12,284	
		達成率	92.3%	46.2%	53.8%	44.7%	
		達成状況	B:相当程度達成	C:未達成	C:未達成	C:未達成	
	指標重要度の割合(%)	40	指標設定理由 アクセス件数は、受け手にとって魅力的な情報が掲載、発信されているとともに、豊島区の魅力が認知されていることを示す指標であるため				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	イベント延べ来場者数【人】	目標値	2,240,000	2,250,000	2,260,000	2,270,000	2,280,000
		実績値	2,112,580	2,291,370	2,273,031	1,487,860	
		達成率	94.3%	101.8%	100.6%	65.5%	
達成状況		B:相当程度達成	A:達成	A:達成	C:未達成		
指標重要度の割合(%)	60	指標設定理由 イベント延べ来場者数は、効果的な情報発信の成果を示すとともに、豊島区の魅力が認知されていることを示す指標であるため					
14 施策達成状況	令和元年度達成状況	57.2%	【達成状況分析】				
	C:未達成	<p>来場者数が大幅に減った要因は以下のとおり。</p> <p>○西口公園の改修工事に伴い「フォーク&カントリーフェス」「池袋ジャズフェスティバル」が中止となった。</p> <p>○また、台風19号の上陸により「ふくろまつり(東京よさこい)」が中止となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため例年3・4月に実施する桜まつりが中止となった。</p> <p>前年度との比較では全体として概ね35%減となるが、開催したイベントの来場者数を個別に確認したところほぼ横ばいであった。</p> <p>また、HPのアクセス数を分析したところ、区の観光スポットを案内するページが年間を通して高いアクセス数を稼いでいることが分かった。だが、内容に関しては古い情報も含まれていたため、ブラッシュアップを図る必要がある。</p>					
	【指標重要度の割合の設定理由】						
アクセス件数は、受け手にとって魅力的な情報が掲載、発信されているとともに、豊島区の魅力が認知されていることを示す指標である。一方、イベント延べ来場者数は、効果的な情報発信の成果と、区で行われるイベントの魅力が来訪者に認知されていることを示す指標であるため、指標重要度において、成果指標の割合を高く設定している。							

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する 事務事業評価 を踏まえた分析	「池袋北口路上美術館事業」、「観光情報発信事業」、「観光イベント支援」、「雑司が谷情報ステーション管理運営事業」、いずれも活動・成果指標は良好な数字を残しており、魅力的な観光情報の発信に貢献している。
16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	「観光イベント支援」は、ふくろ祭りのように地域と共に50年続くイベントを支援している面がある。そのため地域貢献度は高い。「雑司が谷情報ステーション管理運営事業」においては、「雑司が谷がやがやプロジェクト」が、平成26年度の日本ユネスコ協会連盟の未来遺産へ認定されている。また、平成28年度には、鬼子母神堂が国重要文化財指定を受けており、雑司が谷地域の観光・文化資源に注目が高まっている中、雑司が谷案内処が果たす役割は大きい。「観光情報の発信事業」においても外国人来街者の増加を踏まえインバウンドの対応も考慮したパンフレットやマップのデータ更新を行うなど、積極的な情報収集等に努め、時代のニーズに合わせた発信事業を行っていく必要がある。「池袋北口路上美術館事業」については、池袋北口線路沿いの壁が美観を損ねていたことから、写真パネルの展示や美観維持等を行っているが、他の事業に比べると貢献度は若干弱い。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	○2020年に行われる予定だった東京オリンピック・パラリンピック競技大会は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により1年延期となった。感染症の脅威が依然として残るなか、外国人の出入国管理や感染拡大防止に向けた取り組みといった観光需要を左右するものについては注視しつつ、臨機応変に対応する必要がある。 ○区内イベントの主要な会場である池袋西口公園が再オープンした。また、2020年7月にハレザ池袋やイケ・サンパークなどもオープンし、池袋で行われる観光イベントを効果的かつ円滑に実施するため、関係者間の意見調整等を丁寧に行うことが肝要である。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	魅力的な観光情報の発信にはイベント自体の魅力を後押しする必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0503-07	池袋北口路上美術館事業		事業費合計(千円)	1,091	1,386	2,013	2,013	
			うち一般財源分(千円)	1,091	1,386	2,003	2,003	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
0503-08	観光情報発信事業		事業費合計(千円)	1,614	1,245	1,432	1,432	
			うち一般財源分(千円)	1,614	1,245	1,432	1,432	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	
0504-09	観光イベント支援		事業費合計(千円)	42,876	37,735	40,935	40,935	
			うち一般財源分(千円)	41,549	36,542	40,735	40,735	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	
0504-10	雑司が谷情報ステーション管理運営事業		事業費合計(千円)	15,304	8,692	8,351	8,351	
			うち一般財源分(千円)	15,304	8,692	8,351	8,351	
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

1 施策No.	7-2-3		
2 地域づくりの方向	魅力と活力にあふれるにぎわいのまち		
3 政策	観光によるにぎわいの創出		
4 施策	来街者の受入環境の整備		
5 評価担当部	文化商工部		
6 施策関連課	文化観光課		
7 評価者	文化商工部長		

8 施策の目標	新庁舎に導入したTOSHIMA Free Wi-Fiをはじめ、観光インフラの整備を行います。						
	一般社団法人豊島区観光協会と協力し、多言語対応や新たな情報発信の手段を構築する等、来街者満足度の向上を図ります。						
	平成32(2020)年東京オリンピック・パラリンピックに向け増加する外国人観光客に対応するため、観光ボランティアガイドの育成等の「国際アート・カルチャー都市」にふさわしい人材育成を積極的に支援します。						
9 施策の現状と課題	<p>東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、観光庁の2020年訪日外国人旅行者数の目標値は4,000万人、東京都の令和2(2020)年訪都外国人旅行者数の目標値は2,500万人となっており、令和元(2019)年の訪日外国人旅行者数は3,188万人、訪都外国人旅行者数1,518万人となっている。「令和2年版観光白書」によると、東京都の客室稼働率(令和元年)は79.7%と高い水準になっている。</p> <p>区独自の情報発信ツールTOSHIMA Free Wi-Fiを、駅周辺及び主要観光施設等に整備を進めており、屋内外での利用可能範囲を拡大し、利便性を向上させることにより外国人旅行者の滞在満足度を向上させる必要がある。また、ソフト面では、増加する外国人観光客に対するおもてなし環境整備のため、外国語対応可能な観光ボランティアガイドの確保及び育成が求められている。コロナ禍により令和2(2020)年2月以降、訪日外国人旅行者数は大幅減になっているが、入国制限解除に備え、新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた対応が必要である。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	コロナ禍による入国制限のため訪日外国人旅行者数は大幅減になっているが、今後の入国制限解除に備え、新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた対応が必要となってくる。令和3(2021)年に延期となった東京オリンピック・パラリンピックの動向も注視していく必要がある。当区においても、Hareza池袋がグランドオープンし、トキワ荘マンガミュージアム、としまみどりの防災公園(イク・サンパーク)がオープンすることにより東アジア文化都市記念事業が完成となる。						
11 今年度の施策の取組方針	トキワ荘マンガミュージアム、としまみどりの防災公園(イク・サンパーク)オープン、大塚駅北口整備に向けた観光案内サイン、wi-fi等のインフラ整備						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	59,716	66,933	52,802	126,707		
	うち一般財源分(千円)	51,640	56,559	47,345	93,334		
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	TOSHIMA Free Wi-Fi利用数【人】	目標値	150,000	820,000	832,000	979,000	1,028,000
		実績値	733,961	1,664,833	2,055,898	3,103,869	
		達成率	489.3%	203.0%	247.1%	317.0%	—
		達成状況	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	S: 目標超過達成	
	指標重要度の割合(%)	60	指標設定理由 区の情報発信ツールであるTOSHIMA Free Wi-Fiが、現に利用されている状況を示す指標であるため				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	外国語観光ボランティアガイド通訳・案内業務対応件数【件】	目標値	150	200	250	300	350
		実績値	150	128	175	149	
		達成率	100.0%	64.0%	70.0%	49.7%	—
達成状況		A: 達成	C: 未達成	B: 相当程度達成	C: 未達成		
指標重要度の割合(%)	40	指標設定理由 外国語観光ボランティアガイドの活動状況を示す指標であるため。					
14 施策達成状況	令和元年度達成状況	210.1%	【達成状況分析】				
	S: 目標超過達成	OTOSHIMA Free Wi-Fi利用数については、令和元年度は中池袋公園、トキワ荘マンガミュージアムのある南長崎花咲公園にて、アクセスポイントを3か所整備した。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
		OTOSHIMA Free Wi-Fi利用数は、来街者の観光インフラ整備充実度と来街者の活用状況の指標となるため。 ○外国語ボランティアガイドの活動状況は、外国人来訪者がより快適に滞在するための受入れ環境の充実につながる指標となるため。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	<p>TOSHIMA Free Wi-Fi整備事業においては、主要駅、主要観光施設での利用範囲拡大を行っており、今後も観光施設の整備に合わせた整備を行っていく。また、令和元年度にはアプリレス連携を開始しているが、利用しやすいサービスとなるようさらなる質的改善にも取り組んでいく。</p> <p>観光協会で登録を行っている外国語観光ボランティアがおもてなしの最前線となるようフラフェスでのクムの通訳、観光案内機能を持つグローバルリングカフェでの通訳等に従事していただいている。観光協会と連携して実践の場を提供していく。</p> <p>外国人を含む多くの来街者が確実に目的とする観光施設にたどり着けるよう主要観光施設の整備に合わせた観光案内標識の整備を行っていく。</p>						

令和元年度(令和2年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	【貢献度の設定根拠】国際アート・カルチャー都市構想実現戦略(国際戦略)において、インバウンド機能の強化における滞在環境の充実として、TOSHIMA Free Wi-Fiアクセスポイント整備をあげていることから、Wi-Fi基盤整備を行うインバウンド推進事業を施策貢献度が「大きい」事業、多言語対応による情報発信、ボランティアガイドの育成等に係る観光協会への補助事業である観光振興事業を施策貢献度が「ふつう」の事業、外国人を含む来街者を目的地へ確実に誘導するための観光案内標識整備推進事業については、主要観光施設を目的地とする最低限のインフラ整備事業であり、施策貢献度が「低い」事業としている。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	令和3(2021)年に開催延期となった東京オリンピック・パラリンピックの動向を注視し、3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保といった対策を講じながら、入国制限の解除に備えた受入れ環境整備を検討していく必要がある。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	トキワ荘マンガミュージアム、4つの公園といった東アジア文化都市記念事業が完了し、それに合わせたTOSHIMA Free Wi-Fiアクセスポイントの整備も一段落を迎える。コロナ禍が長期戦の様相を示す中、3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保といった対策を講じながら、入国制限の解除に備えた受入れ環境整備を検討していく必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0503-13	インバウンド推進事業		事業費合計(千円)	21,907	29,904	12,175	12,676	
			うち一般財源分(千円)	14,804	20,468	7,674	8,933	
			現状評価	B:普通	B:普通	B:普通		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持		
0503-14	観光案内標識整備推進事業		事業費合計(千円)	3,992	3,138	2,273	75,896	
			うち一般財源分(千円)	3,019	2,200	2,273	46,516	
			現状評価	B:普通	B:普通	A:良好		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	
0503-15	観光振興事業		事業費合計(千円)	33,817	33,891	34,984	38,135	
			うち一般財源分(千円)	33,817	33,891	34,984	37,885	
			現状評価	B:普通	A:良好	B:普通		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		